

地域・在宅看護学演習

ナンバリング:N3-S1-D04

責任者・コーディネーター	地域包括ケア講座 岩渕 光子 教授		
担当講座・学科(分野)	地域包括ケア講座		
対象学年	3	区分/単位数	演習/1単位
期間	前期		

・学修方針(講義概要等)

地域・在宅における看護過程を展開し、対象者が生活する居宅を訪問する上で必要な身だしなみ・態度のあり方、生活様式や価値観を尊重することの大切さ、在宅療養者・家族の看護課題・ニーズに応じた日常生活援助、医療的ケアなどを実践的に学ぶ。また、在宅と病院の違いをふまえ、在宅における医療福祉機器の管理や家族が行うケアに対する支援について、実習室(居宅)等を活用した演習、医療福祉機器の見学・体験を通して地域・在宅看護の実際を学ぶ。想定した事例への支援を検討する中で、地域の特性をとらえ、地域包括ケアにおける保健・医療・福祉機関等の多職種役割、連携、社会資源の活用について学修する。

・教育成果(アウトカム)

地域・在宅看護に必要な知識、技術を学修することにより、日常生活援助技術、医療福祉機器の管理、本人・家族・介護者への指導技術を習得できる。多様な事例をととした演習から、地域の特徴をふまえ、対象者の生活様式や価値観、ニーズに合わせた看護過程が展開できる。地域包括ケアシステムにおける多職種・多機関連携の重要性、自助・互助について認識できる。

【学位授与方針と当該授業科目との関連】

本科目は、本学部の以下のディプロマ・ポリシーに関連する。

2	生命の尊厳と人間としての基本的権利を擁護し、人々の苦痛や苦悩を共感的に理解できる。
3	看護の専門職性及び看護の発展に貢献できる基礎的能力を持つ。
4	看護職者として、さまざまな健康上の課題に気づき、課題に応じて、創造的に看護を実践できる基本的な知識と技術を身につける。
5	患者との関係性のアセスメントを行い、看護を受ける人が自ら持つ力を高められるような援助理論と方法を身につける。
7	保健医療福祉システムの中で、多職種連携を図り、看護の機能と看護職者の役割を理解し、調整機能を果たすための基礎的能力を身につける。
8	コミュニティにおいて、医療職福祉職以外の人や機能と連携し、健康上の課題の解決に向けたネットワークが形成できるように看護職者の地域活動の機能を理解する。

・到達目標(SBO)

1. 看護の対象者との信頼関係の形成に必要なコミュニケーションを学内の演習で実践できる。
2. 地域で生活しながら療養する人とその家族の健康状態や特性について情報収集できる。
3. 地域の特徴を捉え、生活様式・価値観を尊重した看護計画を立案できる。
4. 医療的ケアの必要な在宅療養者と家族への支援について説明できる。
5. 地域の社会資源を把握する方法を理解し、対象にあった保健・医療・福祉機関を考慮することができる。
6. 対象の看護課題・ニーズにあわせた多職種・多機関の機能、役割と連携のあり方を説明できる。
7. 健康の保持増進、疾病予防のために必要な看護援助方法を学内の演習において実施できる。
8. 医療・介護・予防・住まい・生活支援が一体となった地域包括ケアについて説明できる。

・授業日程

【演習】

会場：マルチメディア教室、マルチ3-B実習室、他

月日 曜日 時限	授業内容/到達目標	担当教員
4/8 火 2限	<p>【授業内容】家庭訪問の特徴と実際</p> <ul style="list-style-type: none"> ・在宅への訪問における信頼構築のための服装、身だしなみ、マナー、言葉遣いについて説明できる ・訪問の手順と必要物品について説明できる ・初回訪問の目的と配慮、心構えについて説明できる ・コミュニケーション技術を用いて、家庭訪問の実践ができる(ロールプレイ) <p>【関連するSBO】1</p> <p>【事前学修:30分】在宅看護学実習における看護学生としての服装、身だしなみについて考える(教科書 地域・在宅看護論②在宅療養を支える技術 p21-24参照)</p> <p>2年生で履修した「地域・在宅看護学概論」の家庭訪問、健康教育に関する内容を復習する</p> <p>【事後学修:30分】訪問時の基本姿勢と態度について、要点をまとめる</p>	<p>地域包括ケア講座 岩渕 光子 教授 藤澤 純子 助教</p>

4/15 火 2限	<p>【授業内容】多職種との連絡調整の方法と担当者会議の実際</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護保険制度・障害者支援制度におけるケアマネジメントの提供方法や多職種との連携方法を説明できる ・サービス担当者会議の進め方と関係職種、療養者、家族の役割を説明できる <p>【関連するSBO】5、6</p> <p>【事前学修:30分】介護保険制度によるサービス手続きと障害者支援制度による障害福祉サービスの利用までの流れを復習し、関連する職種の役割を復習する</p> <p>【事後学修:60分】担当する事例の病態、看護・支援の要点を整理する</p>	<p>地域包括ケア講座 藤澤 純子 助教 五日市 瑠美子 助教</p>
5/8 木 2限	<p>【授業内容】在宅療養者、家族の看護過程1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・在宅における看護過程の展開と特徴を説明できる ・居宅サービス計画書や訪問看護指示書等から情報収集・アセスメントができる <p>【関連するSBO】2</p> <p>【事前学修:60分】担当する事例のアセスメントシートをまとめる</p> <p>【事後学修:60分】担当する事例の関連図を作成する</p>	<p>地域包括ケア講座 藤澤 純子 助教 五日市 瑠美子 助教</p>
5/15 木 1限	<p>【授業内容】在宅療養者、家族の看護過程2(グループワーク)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・担当する事例のアセスメント・関連図作成できる ・担当する事例のアセスメント・関連図から、看護課題・ニーズとその根拠が説明できる <p>【関連するSBO】6</p> <p>【事前学修:30分】担当する事例の関連図、看護課題・ニーズを発表できるよう準備する</p>	<p>地域包括ケア講座 藤澤 純子 助教 五日市 瑠美子 助教</p>
5/15 木 2限	<p>【授業内容】在宅療養者、家族の看護過程3(グループワーク)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・担当する事例の抽出された看護課題・ニーズから看護計画を立案できる <p>【関連するSBO】3</p> <p>【事後学修:60分】グループワークの内容を振り返り、加筆修正する</p>	<p>地域包括ケア講座 藤澤 純子 助教 五日市 瑠美子 助教</p>
6/5 木 1限	<p>【授業内容】生活ケアと医療的ケアの援助技術・演習1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・呼吸のアセスメントや呼吸リハビリテーションの基本をふまえ、在宅医療機器管理に伴う看護の留意点を説明できる(在宅酸素療法、在宅人工呼吸療法) ・移動・移乗のアセスメントの基本をふまえ、在宅福祉用具の種類と管理方法および看護の留意点について説明できる(エアマット、介護リフト等) <p>【関連するSBO】4</p> <p>【事前学修:60分】配布する事前学習(在宅酸素療法、在宅人工呼吸療法、視線入力装置、在宅福祉用具等に関する学修)に取り組む</p>	<p>地域包括ケア講座 岩淵 光子 教授 藤澤 純子 助教 赤井 純子 助教 五日市 瑠美子 助教</p>
6/5 木 2限	<p>【授業内容】生活ケアと医療的ケアの援助技術・演習2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・在宅における食事、排泄のアセスメントと援助を理解し、説明できる ・経管栄養シミュレータ体験により、胃瘻管理が実践できる ・排便モデル体験により、排便が実践できる <p>【関連するSBO】4</p> <p>【事前学修:30分】在宅における経管栄養法の目的・対象者・アセスメント・リスクマネジメントについてまとめる</p> <p>在宅における排泄のアセスメント・援助についてまとめる</p> <p>【事後学修:60分】在宅での経管栄養法・排泄援助における療養者・家族への支援、および在宅医療機器と在宅福祉用具を使用する療養者・家族への支援についてまとめて提出する</p>	<p>地域包括ケア講座 岩淵 光子 教授 藤澤 純子 助教 赤井 純子 助教 五日市 瑠美子 助教</p>
6/12 木 1限	<p>【授業内容】在宅療養者、家族の看護過程4(グループワーク、発表)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・担当する事例の看護計画を説明できる ・社会資源の活用、多職種連携に関して検討できる ・在宅看護過程の特徴を理解し、多職種連携を看護計画に反映できる ・実習地でのカンファレンスを想定した、関連図、看護計画の説明ができる(ロールプレイ) <p>【関連するSBO】3、6</p> <p>【事前学修:30分】担当する事例に対する看護援助、社会資源を整理する</p>	<p>地域包括ケア講座 藤澤 純子 助教 五日市 瑠美子 助教</p>
6/12 木 2限	<p>【授業内容】地域・在宅看護における連携 各事例の看護過程へフィードバック</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フィードバックを受けて、地域における多職種・多機関の役割を理解した上で、連携方法を説明できる ・地域で生活する療養者・家族を支える社会資源を列挙することができる <p>【関連するSBO】3、4、5、6</p> <p>【事前学修:30分】担当する事例の看護計画を完成させる</p> <p>【事後学修:30分】講義をふり振り返り、担当する事例の看護計画を加筆修正して提出する</p>	<p>地域包括ケア講座 藤澤 純子 助教 五日市 瑠美子 助教</p>
6/19 木 3限	<p>【授業内容】地域交流を基盤とした健康増進と疾病予防1(グループワーク)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域交流を基盤とした健康の保持増進と疾病予防の必要性を理解し、地域の人々に啓発を行うためのプログラム運営や住民組織との協働について説明できる ・グループに割り当てた健康課題を予防するための生活を調べ、住民向けの健康教育の内容を検討することができる <p>【関連するSBO】7</p> <p>【事前学修:30分】2年生で履修した介護予防について復習する</p>	<p>地域包括ケア講座 藤澤 純子 助教 五日市 瑠美子 助教</p>

6/19 木 4限	<p>【授業内容】地域交流を基盤とした健康増進と疾病予防2(グループワーク)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループに割り当てた健康課題を予防するための生活を調べ、住民向けの健康教育実施にむけて媒体の作成ができる <p>【関連するSBO】7</p> <p>【事後学修:90分】健康教育の媒体を作成し提出する</p>	<p>地域包括ケア講座 藤澤 純子 助教 五日市 瑠美子 助教</p>
6/20 金 3限	<p>【授業内容】地域における医療的ケア児の支援と看護(ゲストスピーカー)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療的ケア児と家族を支える社会資源を説明できる ・障害児・者と家族が安心して暮らすための保健、医療、福祉、教育の連携の促進および地域社会との交流について考えを深めることができる <p>【関連するSBO】4、6</p> <p>【事前学修:30分】教科書②232～236の事例を読み地域で生活する重症心身障害児の支援の概要を把握する</p> <p>【事後学修:30分】地域で暮らす医療的ケア児への支援について、要点をまとめる</p>	<p>地域包括ケア講座 藤澤 純子 助教</p>
6/26 木 3限	<p>【授業内容】地域交流を基盤とした健康増進と疾病予防3(発表)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康教育を実施し、健康増進と疾病予防につながる生活について根拠をもとにわかりやすく説明できる <p>【関連するSBO】7</p> <p>【事前学修:30分】発表準備</p>	<p>地域包括ケア講座 岩淵 光子 教授 藤澤 純子 助教 五日市 瑠美子 助教</p>
7/1 火 2限	<p>【授業内容】多職種連携と住民協働による地域ケア会議の実際</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域課題を導く方法を理解し、地域の人々の支援に必要な社会資源を開発する過程を説明できる ・地域ケア会議に必要な関係者を列挙できる <p>【関連するSBO】5、6、8</p> <p>【事後学修:60分】地域ケア会議における関係者の役割をまとめる</p>	<p>地域包括ケア講座 五日市 瑠美子 助教</p>
7/1 火 3限	<p>【授業内容】地域共生社会における多職種との連携(ゲストスピーカー)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障がい児・者と家族を支援する地域の支援体制や資源について説明できる ・支援の必要な対象者の背景を探る視点を理解し、全体像を捉える重要性を説明できる ・障がい児・者と家族を支援する関係機関の役割と連携について考えることができる <p>【関連するSBO】5、6</p> <p>【事後学修:60分】障がい児・者と家族を支援する地域の支援体制や資源を整理する</p>	<p>地域包括ケア講座 藤澤 純子 助教</p>

・教科書・参考書等

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	ナーシング・グラフィカ地域・在宅看護論(1) 地域療養を支えるケア 第8版	臺有桂	メディカ出版	2025
教	ナーシング・グラフィカ地域・在宅看護論(2) 在宅療養を支える技術 第3版	臺有桂	メディカ出版	2025
参	地域・在宅看護論	河野あゆみ	メヂカルフレンド社	2021
参	系統看護学講座 専門分野 地域・在宅看護論[1]地域・在宅看護の基盤	河原佳代子	医学書院	2022
参	系統看護学講座 専門分野 地域・在宅看護論[2]地域・在宅看護の実践	河原佳代子	医学書院	2022
参	地域・在宅看護実習ハンドブック	尾崎章子	中央法規	2021
参	地域・在宅看護(看護判断のための気づきとアセスメント)	岸恵美子、大木幸子	中央法規	2022
参	関連図で理解する在宅看護過程 第2版	正野逸子・本田彰子	メヂカルフレンド社	2021
参	強みと弱みからみた地域・在宅看護過程 第2版	河野あゆみ	医学書院	2023

・成績評価方法

<p>【総括的評価】定期試験70%、提出課題30%により評価を行う</p> <p>【形成的評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各回に講義において、振り返りシートの提出を求め、学修の成果を確認する ・適宜、事前事後学修やレポート等の学修成果物の提出を求め、学修状況ならびに教育内容の確認を行う

・特記事項・その他

<p>【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・提出された課題については、内容に応じて講義等で適時フィードバックする。 ・適宜、授業中に解説した資料等をWebClassに掲載するので、確認すること。 <p>【その他】</p> <p>Webサイト利用・資料作成のため、全員パソコンを持参のこと(指示する)</p> <p>【保健師助産師看護師学校養成所指定規則教育内容】</p> <p>保健師(別表1):公衆衛生看護学 個人・家族・集団・組織の支援 看護師(別表3):専門分野 地域・在宅看護論</p> <p>【実務家教員担当授業の有無、実務家教員の実務経験の内容及び授業との関連】</p> <p>当該科目に関連する実務経験の有無 有</p> <p>地域における保健師や病院看護師の実務経験を有する教員が、専門領域に関する実践的な教育を事例を交えて行う。</p>
--

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
演習	プロジェクター(VPL-FWZ60)	1	スライド投影
演習	書画カメラ(P-100)	1	演習および学生のグループ発表時資料投影
演習	DVD(ブルーレイおよび一般DVD)	1	講義資料投影
演習	経管栄養シミュレータ器具セット	7	経管栄養法の実践
演習	摘便モデル	5	摘便の実践